



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北の **かなめ**

(第8号)

平成21年8月4日発行



穴通磯 (岩手県大船渡市)

特集：陸奥湾日米共同訓練実施

2～3



特集：三沢市と当局若手職員の合同勉強会

4

- ・米軍車力通信所隊長交代式
- ・防衛問題セミナーを三沢市で開催
- ・8月1日付けで東北防衛局幹部交代
- ・平成21年版防衛白書発行
- ・施設ウォッチング
- ・東北に食あり
- ・インフォメーション (政策広報紙発行等)

4

5

6

6

7

7

8



防衛省東北防衛局広報編集委員会編集発行

宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15

TEL 022-297-8208

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

共同訓練実施



平成21年度第1回機雷戦訓練及び掃海特別訓練が、7月17日から29日までの間、青森県陸奥湾で実施されました。

今回、陸奥湾で27回目を迎え、海上交通安全維持のため重要なこの訓練は、機雷排除に関する戦術技量の向上を目的に日米双方の部隊が共同で実施しているもので、日本側から艦艇25隻、航空機約20機が、また米軍側からは航空機1機、水中処分員等約10名が参加しました。

海上自衛隊の掃海部隊は、日本周辺の危険海域の掃海に従事し、過去には、ペルシャ湾への機雷の除去及びその処理のための派遣などで極めて重要な任務を果たし、国際貢献に大きく寄与するなど数々の業績を挙げ、その技術は高く評価されています。

一方、掃海訓練に必要な比較的水深の浅い海域は、一般船舶の航行、漁船の操業などと競合するため、訓練は一部の場所に限られ、使用期間も制限されています。

当局は、今回の訓練に使用する制限水域（海面）の設定同意について、地元関係漁協と調整を行い、青森県、むつ市等の協力の下で、最終的に同意を得ることができました。



7月19日地元関係者への訓練公開



7月16日海上自衛隊、関係漁協の方々及び局の現地確認

特集：陸奥湾日米



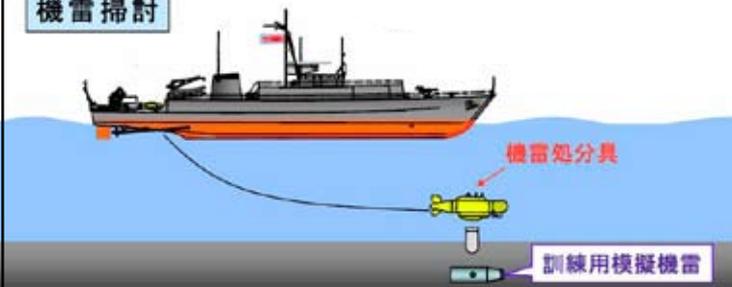
掃海訓練の概要

(イメージ図)

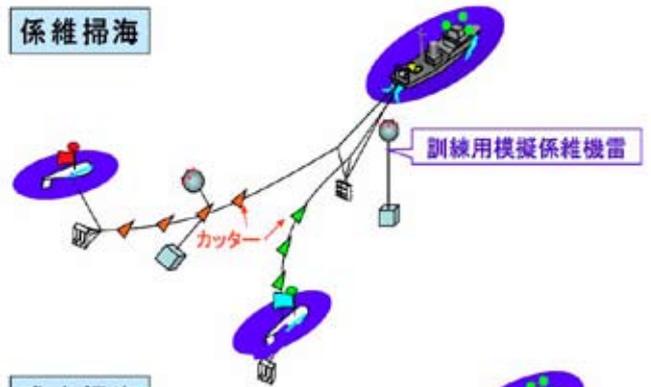
- 係維掃海 係維機雷の処分
- 感应掃海 磁気機雷や音響機雷の処分
- 機雷掃討 機雷搜索・処分

赤枠が制限水域

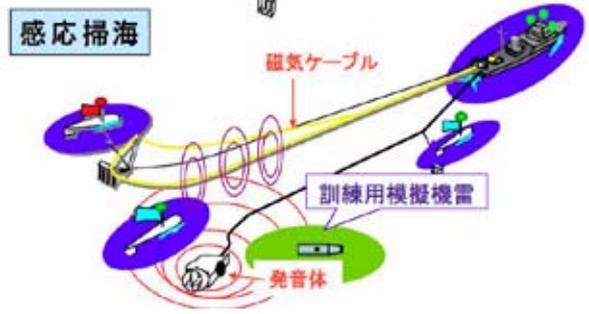
機雷掃討



係維掃海



感应掃海





東北防衛局は、7月8日から10日までの3日間、三沢市と当局若手職員の合同勉強会を三沢市公会堂で実施しました。

合同勉強会



この勉強会は、基地対策業務などについて相互理解を図るための初の試みとして開催されたもので、三沢市と当局から選ばれた若手職員21名が参加しました。

参加者は、三沢基地内施設などの現場を見学後、大澤東北防衛局長からの訓話、同日三沢市で行われた防衛問題セミナー(5項)を聴講したほか、当局河村総務部長、竹林三沢市商工会会長からの講話などを受講し、「日米安保体制は必要か」、「平素から防災意識を高めるにはどうしたらよいか」、「移転跡地の有効活用」などの課題について、グループ討議による活発な意見交換を行いました。

当局は、今回の経験を踏まえて、今後とも、自治体との間で様々な意見交換の機会を設ける予定です。



柴田 事務官
当局企画部
周辺環境整備課

普段あまり考えない課題を三沢市職員の皆さんと一緒に考えることができ大変勉強になりました。

今回、知り合いになれたことを機に、これからも様々な形で交流を深めたいと思います。

合同勉強会に
参加して



細田 主査
三沢市総務部
秘書課

東北局の方々には、発想が自由だと思いました。また、いつも三沢市に来られているせいか、「国の人」というよりは、もっと「親しい人」と感じました。とても楽しい3日間を過ごすことができ、有意義な合同勉強会でした。



(左側から2番目がアットウェル大尉)



(車力分屯基地)

6月19日、米軍車力通信所の指揮権交代式が空自車力分屯基地で行われ、デイビット・ワイジング大尉に代わりカービー・アットウェル大尉が新隊長に就任しました。

交代式には、来賓として福島つがる市長をはじめとする地元関係者が、それに車力通信所の安定運用と地元の相談窓口として現地連絡所を開設している当局より養浦企画部長と竹内三沢事務所長ら合わせて約60名が出席しました。

車力を去るワイジング大尉は「1年間楽しく過ごすことができた。つがる市ネブタまつりや小学生への英会話教室など市民との交流が一番の思い出」と述べ、新隊長に就任したアットウェル大尉は「前任者が築いてきた地域との良い関係を継続したい」と抱負を語りました。

米軍車力通信所隊長交代式



東北防衛局は、『日本の防衛政策（国際社会と日本の行方）』と題し、今年度第1回目の防衛問題セミナーを7月8日、三沢市で開催しました。

開催に当たり、主催者を代表して大澤局長の挨拶など、北朝鮮の動向と対応、世界の紛争と自衛隊の国際貢献、中国の内政事情と軍近代化の動きなどについて、自身のこれまで携わった様々な経験を織り交ぜながら、分かりやすく丁寧な説明しました。

会場となった三沢市国際交流教育センターには定員を超える約300名が聴講に訪れ、会場に入りきれなかった人達はロビーでセミナーの様子をモニターにより視聴していました。

また、講話後には、「北朝鮮の核やミサイル問題」などの聴講者からの質問に対し、講師から時間の許す限り説明を行いました。

今回のセミナーでは、従来に増して女性や若年層（30歳未満）の来場が多く見受けられ、三沢市民の防衛問題に対する意識の高さがうかがえました。

東北防衛局では、今後も東北地方各地において様々なテーマによる防衛問題セミナーの開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

聴講者の感想

- ・ニュースや新聞などでは何となくしか理解していなかったが、セミナーを聴講し見方が変わると思います。 (30代女性・会社員)
- ・興味深いセミナーでした。日本の将来は想像よりシビアなものと感じました。 (20代男性・会社員)
- ・国際貢献について理解を深めることができました。有意義なセミナーでした。 (50代男性・自営業)

8月1日付けで東北防衛局幹部交代

平成21年8月1日付けで幹部の異動がありました。

大澤局長と永田調達部長が退官され、後任に増田局長、中村調達部長を迎えることになりましたので、紹介します。

大澤前局長の挨拶



ご挨拶に伺った先々で「東北防衛局長です」と言って差し出す名刺を見つ、「あっ！仙台防衛施設局が変わったんですね」と言われることが多かった平成20年を経て、最近になって「ああ、東北防衛局長！」と言われる機会が多くなったように思います。

私としては、改編後足掛け3年を迎える東北防衛局の認知度がアップしてきたと思いたいのですが、いろいろな懇談の場（勿論お酒付き）で度々顔を見かけた成果なのかもしれません。仮にそうだとすると、東北防衛局が独り立ちに向けて着実に進んでいることの証ではないかと考えております。

まだまだ「これが東北防衛局だ！」と大きな声を出すことはできないかも知れませんが、職員237名の心の中には、そうした気分がジワジワと浸透してきているのではないかなあ、と思っています。私が考える「東北防衛局らしさ」は、東北の自治体や住民の皆さん、とりわけ自衛隊や在日米軍の施設を抱える地域の皆さん、そしてわが国の平和と安全に大きく貢献する自衛隊や在日米軍の皆さんに、「最近の東北防衛局は、以前よりは我々のことを考えてくれるようになったなあ！」と言って貰えるようになる、というものです。

こうした点で、まだまだの感はあると思いますが、今後とも「東北防衛局づくり」に励む東北防衛局に、温かくも厳しい声を届けていただければ、読者の皆さんにお願いをしてお挨拶に代えます。これまでのご支援・ご協力、本当に有り難うございました。



東北防衛局長

ます だ しん ごと
増 田 慎 吾

（昭和28年生）

昭.51.4 防衛施設庁
平.17.8 防衛施設庁総務部総務課長
平.18.8 防衛施設庁総務部施設調査官
平.19.4 防衛施設庁業務部労務調査官
平.19.9 近畿中部防衛局長
平.21.8 現職

東北防衛局 前調達部長

なが た しょう いち
永 田 省 一



「お世話になりました。」

東北防衛局 新調達部長

なか むら よし あき
中 村 能 昭



平成21年版（2009年版）防衛白書発行

21年版防衛白書は、ソマリア沖・アデン湾における海域対処を含む防衛省の海洋政策への取組について、詳しく説明しています。

また、北朝鮮による弾道ミサイル発射への自衛隊の対応、イラクやインド洋における国際平和協力活動の教訓・反省事項、エジプトにあるPKOセンターへの自衛官を講師として派遣したことなどについて記述しております。さらに、国内外において様々な任務を遂行する隊員等の「顔」が見えるよう、生の声をコラムにおいて多く記述しています。

なお、21年版防衛白書の内容などについては防衛省のホームページに詳しく掲載されておりますのでどうぞご覧ください。

防衛省ホームページ <http://www.mod.go.jp/>

施設ウォッチング

今回の施設は「T-4格納庫」の紹介です！

青森県三沢市・三沢基地内（航空自衛隊第三航空団）にT-4用の格納庫が6月30日に完成しました。

総工費は約10億円で、鉄骨造平屋建て／一部鉄筋コンクリート造2階建て（延べ面積約4,100㎡）、鉄骨造部分はダイヤモンドトラス構造のアーチ型屋根が特徴となっており、格納庫の間口が幅約33m、建物の最高高さは約15mです。



T-4中等練習機

T-4中等練習機は、信頼性及び整備性に優れた航空機で、日本全国で展示飛行を行っている航空自衛隊松島基地のブルーインパルスにも同型機が使用されています。



調達部 遠藤総括建設監督官から



今年、4月に着任し三沢基地で各工事監督官の指導を行っています。

この格納庫の建設場所は、三沢基地でも地盤があまり良くない場所で、建物の基礎工事や安全対策など、工事関係者が非常に苦勞したとの話を聞いております。

東北に食あり

—宮城県加美郡色麻町—

えごま豚

色麻町の「えごま」は、平成9年色麻町商工会が導入した物産品開発事業で将来性のある特産物の素材として注目し、転作の推進作物として栽培され、現在では全国トップレベルの作付面積となっています。

「えごま」は、 α -リノレン酸を多く含み、「血液をサラサラにする・アレルギーやアトピーの予防・発ガン物質の予防」など体にとっても良いとされています。

特産品として「油・ドレッシング・卵・アイス・焼酎」など多くのえごま商品が販売されています。

このえごまを餌に配合し飼育した豚を「えごま豚」といい、その肉は α -リノレン酸効果によって油の質が良く、香り、柔らかさ、食味等絶妙なバランスとなっており、健康に良い食材です。

「えごま豚」は、色麻町愛宕山公園の高台にあるステーキハウス「ふるさと」で賞味できますので、一度食べてみてはいかがでしょうか。



■色麻町産業開発公社

ステーキハウス「ふるさと」

住所：宮城県加美郡色麻町四竈字東原 1-12

電話番号：0229-65-3569

営業時間：11:00～20:30（定休日：月曜日）

編集後記

「よろしくお願ひします。Part2」

報道官の尾山です。今回も前号同様、上司から「常に新しい発想を心掛ける、読者の目線で考えろ！」などの指導を何度も頂きながら、どうにか発行にこぎつけました。おかげさまで、ちょっぴりお酒の量は増えたにもかかわらず、減量に成功しました。今後も、多くの皆様に読んでいただけるよう努力したいと思いますので、東北防衛局の広報紙「東北のかなめ」を暖かく見守ってくださいますよう、よろしくお願ひします。

- INFORMATION -

政策広報紙発行

東北防衛局では、季刊発行の広報紙「東北のかなめ」に加え、本年8月初旬に、防衛省の中央及び地方における政策を情報発信する「政策広報紙」の発行を予定しています。

今回は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処を特集テーマとし、海賊行為発生の背景や海賊被害の実態、自衛隊がどのような活動を行っているのかなどの内容をわかりやすく解説しています。

政策広報紙では、これからも防衛省の政策や自衛隊の活動などについて、わかりやすく、親しみやすい内容で、皆様にお伝えしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、政策広報紙は「東北のかなめ」と同様、東北六県、防衛施設所在市町村、自衛隊の各部隊、大学、県立図書館、主要都市の図書館等に配布します。



(掲載案)



東北の自衛隊広報行事

自衛隊（東北管内）が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
8月	陸 8月 6日 (木)	八戸駐屯地納涼盆踊り	八戸駐屯地	八戸駐屯地司令業務室 0178-28-3111
	陸 8月 8日 (土)	福島市西地区盆踊り大会協力	福島駐屯地	福島駐屯地広報室 024-593-1212
	陸 8月 20日 (木)	青森駐屯地盆踊り大会	青森駐屯地	青森駐屯地司令職務室 017-781-0161
空 8月 23日 (日)	第55回松島基地航空祭	松島基地	第4航空団監理部広報班 0225-82-2111	
9月	海 9月 8日 (火)	ふれあいコンサート	八戸市公会堂	大湊地方総監部広報係 0175-24-1640
	空 9月 13日 (日)	車力分屯基地開庁記念行事	車力分屯基地	車力分屯基地総務班 0173-56-2531
	陸 9月 13日 (日)	大和駐屯地創立53周年記念行事	大和駐屯地	大和駐屯地広報班 022-345-2191
陸 9月 13日 (日)	岩手駐屯地創立52周年記念行事	岩手駐屯地	岩手駐屯地司令業務室 019-688-4311	
陸 9月 13日 (日)	秋田駐屯地創立57周年記念行事	秋田駐屯地	秋田駐屯地広報室 018-845-0125	
陸 9月 25日 (金) 26日 (土)	東北方面隊音楽フェスティバル	仙台サンプラザホール	東北方面総監部広報室 022-231-1111	
陸 9月 27日 (日)	東北方面隊創隊49周年記念行事	霞目駐屯地	東北方面総監部広報室 022-231-1111	
10月	陸 10月 11日 (日)	福島駐屯地創立56周年記念行事	福島駐屯地	福島駐屯地広報室 024-593-1212
	海 10月 17日 (土)	八戸航空基地祭	八戸航空基地	第2航空群司令部広報室 0178-28-3011
	空 10月 18日 (日)	三沢基地航空祭	三沢基地	第3航空団司令部渉外室 0176-53-4121
	陸 10月 18日 (日)	平成21年度創立記念行事 (市中パレード)	弘前市内	弘前駐屯地広報室 0172-87-2111

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。